

令和3年 市政ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 令和3年5月23日（日）10時から12時
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 市民25名
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、小林企画財政部長、隈市民生活部長、三澤健康福祉部長、柏木環境経済部長、南川建設部長、森都市部長
他管理職15名

■懇談要旨

市民：四季の道の自動車対策についてです。青山・日秀線の見通しが見つからないのですが、下ヶ戸・中里線が整備され、湖北台の利便性が増しますが、その分、四季の道の交通量が増えるのではないのでしょうか。今から、その対策をしておくべきではないかと思えます。速度の表示物によるPR、また、湖北台10丁目に歩道の新設をお願いしたい。これから地域としても意見をまとめていきたいと考えております。湖北台10丁目は坂が多く、自動車のスピードが速いので、注意が必要と思えます。

次に湖北駅前のお休み処についてです。図書館本館は青少年の学習室として開放されています。分館は無理だと思えますので、お休み処を活用できないでしょうか。以前、市議会議員からも発言がありましたが、立ち消えになってしまいました。お休み処は、土日開放していません。また、平日16時から夜間を青少年のための学習室にしてほしい。

もう一点は、水生植物園の復活はあるのでしょうか。看板だけになっていきます。今後復活の計画はあるのでしょうか。

都市部長：四季の道の将来交通量については、東京都市圏で行われているパーソントリップ調査の結果を解析することによってわかります。これは、「いつ、どこからどこまで、どの様な交通手段で移動したか」という調査で、そのビッグデータが得られます。解析によって、道路の将来の交通量予測のほか、どの道路が（通過交通に対応している道路となっているのかなど、）どんな使われ方をしているかということもわかります。我孫子市の東側（印西市側）から入って、西側（東京方面）に抜ける車は最初から利根川沿いの県道我孫子・利根線を選択して国道6号に抜ける特性があります。下ヶ戸・中里線の整備後は、四季の道は現在よりも多少交通量が増える程度であって、通過交通はほとんど増えることはないという結果が得られていますので、心配はありません。また、湖北台地区全体の道路網をとらえた場合、より良好な状態になるという予

測結果が得られています。

建設部長：全体的にはあまり変わらないのですが、地区内の流れは変わると思います。整備の進捗と合わせて、地元の方と協議をして、検討してまいります。また、警察とも協議を行ってまいります。歩道の設置をとのことですが、用地も必要であるため、検討していきます。

市長：お休み処についてですが、コロナで、開けることができておりません。今年も開けられる目途が立っていない状況です。2年間開けないで、家賃を払う必要があるかというところでは、1度解約して、コロナが終息したら、また契約をするという事も考えましたが、今後はきらめきデイサービスとして、借りていきたいと考えています。週一日は、きらめきデイサービスをして、他の日はお休み処のような事業をしてもよいのではないかとということで、話し合いを地区社協と行っています。

図書館は、消防署付近に移動することについて、賛同が得られなかったため、現在の湖北分館付近、西小学校との併設も含めて、教育委員会で検討しています。水生植物園については、農家の方と協力をしていかなければなりません。憩いの広場として、活用したいという計画を立てていきたいと思っておりますが、コロナの状況があり、イメージのみとなってしまっています。

市民：コロナについてです。発表された累計感染者のうち、何名が、完治したのですか。クラスターにかかった人は、どのように対処しているのですか。

健康福祉部長：感染された方の状況については、県が把握しています。細かい状況は市では把握しておりません。今出ている情報がすべてです。クラスターが発生した場合は、入院が必要な方の入院調整、ホテルの搬送等についても県が担当しています。市では行っておりません。すべての情報は県が把握し、調整を行っております。市では、自宅療養者に対する、パルスオキシメーターを届ける業務のみを社会福祉課で、土日も含めて対応しています。

市長：感染者の搬送は、保健所の職員が搬送しなければならないこととなっておりますが、我孫子市の救急隊員がやれることは対応すると言って、搬送していることもあります。成田市や、君津市、旭市の医療機関に搬送したことがあると、聞いていますが、個別には、わからないということです。

市民：3点ほど、お聞きします。我孫子の魅力について、誇れる給食を発信し

てほしいと思います。各校に栄養士1人で自校方式という点では、今のアレルギー対策は完璧だと思います。今後も継続してほしいと切に希望いたします。

あと、オリンピックの事前合宿についての経緯と、コロナへの対策等について、市はどのように考えているのかお聞きしたい。

最後に、小中一貫校についてですが、西小学校の将来について、もし、小中一貫校になるとしたら、地元に教えていただきたい。

市長：市の魅力を発信するうえで、魅力を感じる人とそうでない人がおります。給食について、魅力を感じる人とそうでない人もいるということです。待機児童が0であることもそうです。自校方式についても、その点については検討が必要です。親子方式ですが、教育委員会が発表する前でも、給食が出ていた中学校がありました。湖北中と湖北小はすぐ隣だったため、市内で湖北中は給食がありました。遠くにある学校ではなく、すぐ隣にある学校同士であれば、親子方式を検討するべきものであると考えています。どちらかで作って対応したとしても、アレルギー対応はできます。市内では、布佐小学校と布佐中学校が一つになった人数以上に生徒数が多い学校でも対応は出来ています。そういった現状を見ると、親子方式については、検討する余地はあるのではないかと考えています。あくまでも、センター方式ではありません。基本は自校方式です。小中一貫方式についてはすでに市内で始めています。文科省からも進めていくように通知が来ています。小学校の高学年に選任科教師をつけることを進めていく、そうすると小学校教諭に、中学の免許が必要となります。現状では派遣するしかありません。こういったことを含めて協議をしていく中では、学校の建て方も検討するしかないと考えます。布佐中学校と、布佐南小学校は浸水エリアに校舎が立っています。市内では、そのほかに並木小学校、湖北台中学校、湖北中学校が浸水エリアです。こういったことも今後建設を考えていく中では、重要なことです。なお、生徒数が減少し、部活ができなくなっているところもあります。そういった子供達の活動の機会を奪わないように、教育委員会が検討しています。校舎が老朽化して、生徒数に応じた、今後の方針を立てる必要があるということで、分離型の小中一貫と一体型の小中一貫も検討する必要があるというわけです。校舎を建てるにあたっての予算確保は市長部局で、どのような教育をするのかは、教育委員会です。今後は、教育委員会がタウンミーティングを実施する予定であります。そこまでに教育委員会の考えをまとめていくと思われれます。

スロベニア共和国の事前キャンプについては、受け入れる予定です。当初は他市で受け入れる予定だったのですが、コロナの関係で出来なくなり、県から我孫子で受けてくれないか、という打診がありました。以前、我孫子市では台

湾の選手を受け入れようとしていたのですが、銚子市に行ってしまいました。今回は県から打診があり、医師会と調整をしながら決定しております。女子柔道の選手団を3名、一週間受け入れる予定です。毎日PCR検査を行い、選手村に行く前の1週間、事前合宿をするということです。その間、選手との交流できませんが、競技後に何らかの交流を半日でもいいので行いたいと考えております。詳細は今後詰めていきます。テコンドー、空手も、オリンピック出場が決まれば受け入れる予定で、現在、スロベニアと調整を行っております。

市民：オリンピック事業についてです。子供に夢や希望を持ってもらう、と資料にあります。観戦チケットが1,850枚と書かれています。このコロナ禍で、また、真夏の中、虐待につながるのではないですか。全国では、小中校から81万人派遣するとあります。こんな暑いのに、大変なことになります。区立の学校では、辞退するところもあるそうです。ぜひ観戦をとりやめていただきたい。酷暑の中、心配です。

市長：市への提供枚数は1,850枚です。当然全員分ではなく、希望者のみです。希望しない方に無理やり行かせるわけではありません。広島派遣も希望制でありました。今回の件が虐待であれば、広島へ行った事も虐待に値するということになるが、全員元気で帰ってきました。広島に行った事で、元気になる子供もいます。あくまでも親が行かせたい、本人が行きたいという希望者です。1,850人に満たなくても、いいと思っています。暑い中、エアコンが入っていない教室での授業は虐待になってしまうのでしょうか。子供達には、暑い中での体の守り方を覚えてほしいと思っています。また、競技会場は基本的には室内ですので、エアコンがついています。行くのはあくまでも希望者です。私は、今年も広島に行く予定です。虐待ではございません。しっかりと子供たちの姿を見てほしいと思います。オリンピックの開催決定は、IOCと組織委員会です。市はその決定に従います。スロベニアが受け入れ先がなく、困っていたので、引き受けたのです。スロベニア側が辞退したら、それを受け入れます。

スロベニア選手の競技終了後から帰国前に子ども達との交流の時間を取りたいと考えています。こちらも希望者のみにする考えです。

市民：公団は家賃と共益費込みで引き落とされているが、市営団地は別です。空き家も増えてきています。上階は全部空いています。私が住んでいる棟でも8件空いています。高齢化も進んでいて、80歳代も増えてきています。集金も大変。住民が減っていることから1件の共益負担も増えていきます。共益費の値下げと家賃と一緒に共益費の引き落としができるようにしてください。お

願いたします。先ほど、新しい道路が造られるという中で、若草幼稚園付近は、車がすいていると先ほど言っていました、すいてません。湖北小学校付近では建売が多くなってきています。朝晩がラッシュになっていて、今後若草幼稚園が移転しても、ラッシュになると思います。支援学校付近では、大型車が通り抜けしています。ですから、久遠苑のあたりに信号をつけてほしい。しょっちゅう事故があるようです。

都市部長：若草幼稚園から保健センターの通りは比較的少ない、という意味で申し上げます。市営住宅については、担当からお答えいたします。

建築住宅課長補佐：家賃と共益費は、使い道が異なるため、そのようになると思われます。担当が異なるため、申し訳ないのですが、正確にはお答えできません。後程回答させていただきたいので、懇談会終了後、ご連絡先を教えてくださいたいと思います。

建設部長：道路の混雑状況については、現況をそこまで把握できていないので、確認させていただきたいと思います。久遠苑の信号は、市からも要望していますが、管轄が県や警察になります。市としては今も要望を出しています。信号機設置について警察は、交通量や事故で判断しています。市からも引き続き要望していきたいと思います。

市長：中里通りに住宅が増えたことは知っています。前は畑だったのですが。通過交通が増えたわけではなく、住んでいる人が増え、その方の移動が増えたからだと思います。信号については、私も今井県議も知っています。当初は道ができたなら信号をつけるといっていました、交通量を見てから判断する、ということに変わってしまいました。引き続き、今井県議も私も要望していきます。ただ、県としての信号機設置の予算がなくなってきており、年間1市に1つ、つかない予算に減ってしまいました。しかし、知事も変わりましたので、予算についても要望をしていきますので、しばらくお待ちいただきたいと思います。設置できるよう、頑張っていきます。

市民：3点程、お聞きいたします。ワクチン接種については、他市では日時指定の接種券を配っているようですが、お聞きしたいことは、私は、ワクチンを市長が先に打つことについて賛成です。行政のトップが倒れてしまつては、市民サービスの低下になる。これについて市長は、どのような見解なのか教えてください。2点目は、クリーンセンターの粗大ごみ受け入れについてです。現状

をお聞きしたい。3点目は、356号バイパスの終着点はどこかということです。クリーンセンター課長補佐：現在は建て替えを行っており、令和5年3月まで、このような状況が続きます。粗大ごみの受け入れ現状につきましては、現時点では、2週間以内での空きがありますので、ご活用いただければと思います。

建設部長：中里線が伸びていて、今の計画も完成形ではなく、今後、協議していくものです。現在の計画は確定ではないということです。

市長：私は、まだワクチンは打っておりません。市長に就任してからはもちろん、30年以上寝込んだことはありません。現在、一般診療もしていないのですから、まだ打たなくていいかなと思っております。私は以前、検査をした際に免疫力の低下は少ないと言われたことがありますので、免疫力を下げないように、日々気を付けています。ワクチン接種については、名戸ヶ谷病院のワクチンがあまった場合には、高齢者や障害者担当の課がある西別館の職員から先に打たせる予定です。市としては、多くの高齢者に時間を指定することで、早く正確にできるかどうか。公平かどうか、というところもあります。予定外だったのが、スマホの予約が少ないことで、電話ですと長電話が多いことです。また、もうすぐ電話がつながるのに、あきらめて切ってしまう方が多いということです。長電話をされると、予約受付が滞ってしまいます。改めて、皆様をお願いしますが、電話は短くしてください。インターネットの方がスムーズに予約が出来ます。お子さんやお孫さん、ご近所にスマホができる方は、ぜひ手伝ってほしいと思います。ただ、現在の手法を変えると、それだけ遅くなってしまうため、今のままでいきたいと考えております。ワクチン接種は希望する方がなるべく早くできるよう、対応してまいります。

市民：356バイパスはスピードが40キロ規制が続いていますが、見通しの良い直線道路ですので、出来上がったものをどう使っていくか検討する必要があると思います。スピード規制を50キロぐらいに上げられないでしょうか。

建設部長：条例ではありません。警察が判断するものです。実際は60キロで走っていることを警察で確認しており、速度を上げることは検討しています。ただし、今は40キロ規制の中、60キロ走行という現状で、規制を緩くした場合、さらにスピードが上がってしまうことも懸念されます。市としては、安全な走行が出来るよう、警察との協議をしていきたいと考えております。

市民：2点お伺いします。ワクチンの予約を早くとれるようにしてほしいです。あびちケもHPにアクセスして注文するというやり方で、ネットが出来ない人は購入できませんでした。飯能市では、広報に返信用はがきを入れて、誰もが対応できるようにしました。もっと創意工夫をしてほしいと思います。じゃぶじゃぶ池も、去年は閉鎖。もっと工夫してほしい。3つめ。図書館の貸し出しですが、閲覧はだめでも貸し出しはできたのではないですか。また、湖北台5丁目では2回停電がありました。去年と一昨年。去年は夏の暑い頃でした。でも防災無線も何も放送されませんでした。暑い中では人命に関わります。我孫子の広報車を使うなど、早く情報を流していただきたい。最後、議会中継についてですが、以前は、質問した翌日に大綱質疑がネットで見れましたが、3月議会は9日後でないと見れないようになりました。情報をいち早く市民に伝えることが重要だと考えておりますので、現状では非常にまずいのではないのでしょうか。

環境経済部長：あびちケについては、コロナ禍の中、接触を減らすためにインターネット予約としました。じゃぶじゃぶ池につきましては、苦渋の決断で閉めさせていただきましたが、今年実施する方向で検討したいと思っています。

市民生活部長：停電については、当時、防災無線は使用していなかったと記憶しています。市民の皆様にとっては、いつ復旧するかが、一番知りたい情報だと思います。今後につきましては、東京電力と調整して、検討してまいります。

市長：ワクチンの件については、何度もお伝えいたしますが、接種の予約は、お子さんやお孫さん、ご近所等に、協力を依頼してほしいと思います。あとは、我慢強く電話が繋がるのを待つてほしいと思います。7月になると診療所で受けられるようにもなります。図書館については、開館時間は短くしていますが、貸し出しはできていると認識しています。

議会の件につきましては、議会事務局に伝えて、確認しておきます。